

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	体調や身体状況によって、ベッド4点柵や車椅子の体幹ベルトを使用している方がいる。	職員一人ひとりが拘束を安易に正当化することなく、身体的・精神的弊害を理解し、身体拘束しないケアの実践に努める。	身体拘束等適正化委員会やユニット会議で検討しながら、本人の状況に合わせ、拘束時間を少なくして行き、徐々に解除に向けて取り組む。	12ヶ月
2	48	季節により計画的に町内行事への参加や散策、ドライブに出かけたり、映画鑑賞や仏事にも職員が同伴して支援しているが、より頻度を増やした外出支援が望まれる。	全ての入居者に対し、外気に触れる機会や散歩、近隣のドライブ等を増やし、気分転換や五感に刺激を与えられるよう支援する。	月1回程度は近隣のドライブや散歩の機会を設ける。また歩行の自立が困難な方には車椅子を使用し、外出する機会を増やす。体調面から外出困難な場合でも外気浴や日光浴の機会を設ける。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。